市長と市民の
新春対談

みんなで築こう！愛と希望あふれる西宮

市は、激変する社会に対応できる市政運営を図るため、市民の皆さんとともに進めるまちづくりに取り組んでいます。そこで、山田知市長と市民の皆さんとの新春対談を開き、「西宮のまちづくり」をテーマに話し合っていただきました。

西宮市長　山田　知

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
西宮市は、ふるさとを愛する多くの皆さんのご努力により、文教住宅都市として発展してきました。私は、このすばらしい財産を継承しながら、さらに魅力と活気があふれるまちづくりを進めていきたいと考えています。
そのためには、市民の皆さんにご協力いただくことが不可欠です。手を携え、住んで良かったと言われる西宮を築いていきたいと思っています。

人と人とのつながり広げて

西宮市社会教育委員
若草町２丁目在住

黒木順子さん

黒木　西宮の魅力は、自然に恵まれていることだと思います。甲山の頂上から見えるまち並みは美しく、武庫川の河川敷は様々なスポーツ活動などに利用でき、すばらしい環境が与えられています。

この自然環境を守るためにも、ごみの分別を増やして資源リサイクルを進める方が良いのでは。

市長　自然の豊かさを大切に残していくことはもちろん、市民の皆さんと一緒に考えながら、緑を増やしていこうとしています。

また、不要な物を買わない、再生商品を利用するといったことを積極的に取り組んでもらうことで、環境を守ることができますよね。

小西　子育てについては家庭を地域で支援していかないといけませんが。

黒木　「まちづくりは人づくりから」と言います。子供たちが健やかに育っていくように、お手伝いしたいですね。各地域にある子育てグループや市の子育て・総合センターの講座にも、多くの皆さんに参加してほしいと思います。

市長　子供たちがしっかり学んで遊べるように、市民の皆さんと協力して支援していきます。

黒木　人と人とのつながりを広げていくことが、より一層住みやすいまちへの原動力となるのではないでしょうか。そのためにも市の情報をもっと市民が活用できるようなシステムの開発をお願いしたいですね。

市長　行政の仕事もできるだけガラス張りにしていかないといけません。市民の皆さんに理解を深めてもらうことで、まちづくりも進んでいくと思います。

神戸女学院大学２回生
岡田山在住

山本奈々さん

山本　実家は岡山市で、今は大学の寮にいます。西宮は、阪急・JR・阪神と電車の種類がいっぱいで驚きました。西宮北口周辺に、学生が楽しめる娯楽施設などができれば、にぎわいが大きくなると思います。

市長　西宮には22の駅があり、阪神間の交通の要衝になっています。また、10の大学・短期大学があるまちで、2～3万人の学生が集まっているんですよ。昨年4月西宮北口に大学交流センターを設けましたので、学生の皆さんにどんどん活用してもらいたいですね。

小西　大学交流センターでは「カレッジタウン西宮」事業を進めていますね。

山本　様々な大学の先生の講義やイベントなどが開かれるようですが、とても良いことです。私も参加できればと思います。

大学で福祉を専攻していることもあり、センターのボランティアグループ・エヌピスタに登録しています。高齢者や障害者の皆さんとの交流を通じて、勉強していきたいと考えています。市民の皆さんにも参加してもらう機会を増やせば、元気のあるまちになるのではないでしょうか。

それから、ちかんやひったくりが多いようなので、街灯を増やすなど対策を考えてほしいと思います。

市長　人が交流を深めることにより、まちは発展します。今、新たな活力を生み出していくため、西宮の特色を生かしたイベントなどを企画しています。

治安の問題については、警察や地域の皆さんと協力して、市民の皆さんが安心して暮らせるように取り組んでいます。

大阪や神戸との違いを

司会者　神戸新聞社記者
小西博美さん

企業や市民の皆さんには、より良い西宮を築いていくため、積極的にまちづくりに参加してほしいですね。

文化や歴史を大切に

西宮青年会議所会員
タケウチ事務機代表取締役
甲子園口２丁目在住

竹内　博さん

竹内　西宮青年会議所に所属し、様々な業種の人と一緒に地域特性をはぐくむ活動に取り組んでいます。西宮にはすばらしい文化や歴史のある場所が多い。その一つとして、高校野球開催時に全国から来られる皆さんをお迎えし、「甲子園のあるまち西宮」をアピールしています。

EWC（地球ウォッチングクラブにしのみや）に協力して、子供たちの環境活動を支援したり、阪神間で干潟が唯一残っている甲子園浜を市民の皆さんと守っていく取り組みも行っています。

市長　行政も市民の皆さんに西宮の良さを再発見してもらおうと、施設見学会などを行うとともに、全国へアピールできる新しい魅力づくりにも取り組んでいます。

EWCの活動は、環境省のエコクラブ事業として取り入れられ、西宮が一つの大きな発信地になったと思います。また、文教住宅都市として、自然の豊かさをきちんと守っていきます。

小西　西宮の発展のために取り組んでいきたいことは？

竹内　西宮のアイデンティティをはぐくんでいくとともに、産業界の活性化に取り組んでいくことが最優先ではないでしょうか。西宮には様々な産業があり、企業が元気を取り戻さないと、本当に活気のあるまちにはならないので、企業人として、市民として頑張ります。

市長　西宮は産業のまちという側面も持っています。特にお酒を中心とした食の産業が特徴です。産業が活性化すると、物や情報が行き交い、新しいにぎわいが生まれてくるでしょう。まち全体で考えていく必要がありますね。

市立西宮高校２年生
上大市２丁目在住

上前功夫さん

上前　高校では美術部に入り、また、吹きガラス製作を学びに行っています。西宮は文化活動において良い環境にあると思います。

市長　市民の皆さんの文化に対する意識はとても高く、リーダー的な芸術家も住んでいます。西宮北口に芸術文化センターを建設するとともに、さらに市民的な文化の高まりを図っていきたいですね。

上前　中学生のとき、学校の空き缶回収を通じて、発展途上国の井戸掘りや植林に協力しました。国際社会に貢献している感覚を身につけるので、このような活動が市全体の取り組みになれば、ものすごい発展になるのでは。

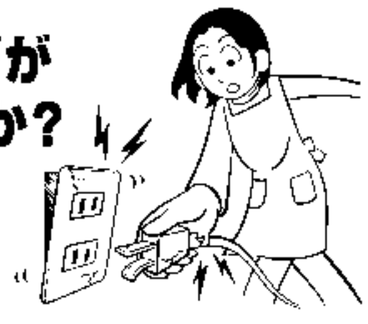
市長　環境保全にもつながる取り組みで、一人ひとりの行動が積み重なっていけば、大きく前進していくでしょう。行政としても市民の皆さんの意識啓発に努めています。

小西　西宮がこのようなまちになってほしいと思うことは？

上前　大阪と神戸の中間にある住宅地という特性を生かしていけば良いと思います。都市計画で整備されてすっきりしたまちも良いけれど、自動車優先で人や自転車が通りにくい場所があります。バリアフリーの面からも直していかないと。自然が身近にあふれ、生活のにおいが充満しているまちにしてほしい。

市長　市民の皆さんの意見を聴きながら、大阪などとは一味違ったまちを一緒につくっていきたいと思います。そして、西宮に住めてすばらしい人生だったなと、皆さんに思ってもらえるまちにしたいですね。

コンセント・プラグが破損していませんか？



破損したコンセントやプラグをそのまま使用し続けると、通電や断線の原因になり、火災になることもあるので大変危険です。

電気は安全に使いましょう。

主な業務
・一般の一家庭や事務所を定期的に、おうかがいする電気安全診断
・ビル・工場・事務所などの電気設備の保安管理と点検
・電気の使用と安全についての広報
・電気についての総合コンサルティング

NPO法人 関西電気保安協会
http://www.ksch.or.jp
西宮調査センター
西宮市伏原町6-30　TEL(0798)65-1069

明けましておめでとうございます
今年も宜しくお願いいたします。

阪神米穀のお米　えべっさん

■本社　TEL.0798(26)0221(代表)

えべっさんのお米。
お米のプロが選び抜いた、良質で美味しいお米です。また、西宮えびすの行事にも使われている「福の米」。
ぜひお試しください。

阪神米穀は「おいしいごはんを食べよう県民・国民運動」を応援しています。